

平成29年度 展示圃試験結果

試験目的：慣行の追肥体系と肥実効を使用した追肥回数削減の省力体系の比較試験
追肥の省力化と増収を目指す

試験概要

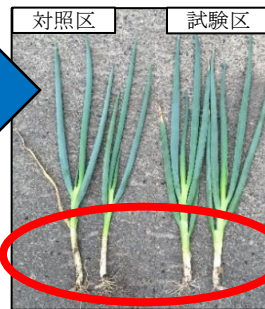
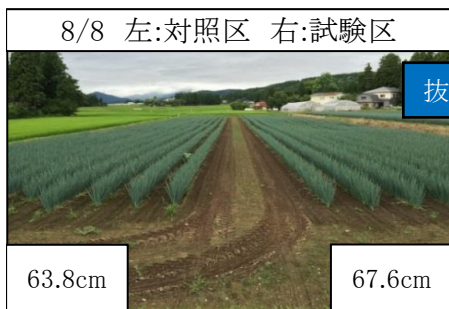
試験場所住所	岩手県花巻市
対象作物	ネギ(ホワイトソード)
使用面積	各10a程度
移植日	5月20日
植付株数/10a	*31680株/10a

※ペーパーポットCP303(264穴)×60枚、1穴2粒播き

施肥体系

	施肥日	資材名	成分 (N-P-K-Mg)	施肥量 (kg/10a)	成分量(kg/10a)			
					N	P	K	
両区共通		炭化鶏ふん						
		炭カル						
		牛堆肥						
対照区	元肥	リン酸資材	0-19-0	80	-	15.2	-	
	追肥	6月30日	オール14	14-14-14	40	5.6	5.6	5.6
		7月14日	オール14	14-14-14	40	5.6	5.6	5.6
		7月30日	オール14	14-14-14	40	5.6	5.6	5.6
		9月5日	オール14	14-14-14	40	5.6	5.6	5.6
		9月下旬	オール14	14-14-14	40	5.6	5.6	5.6
		10月上旬	オール14	14-14-14	10	1.4	1.4	1.4
合計				210	29.4	44.6	29.4	
試験区	元肥	肥実効222-15号	12-12-12	140	16.8	16.8	16.8	
	追肥	肥実効222-15号	12-12-12	80	9.6	9.6	9.6	
	合計			220	26.4	26.4	26.4	

中間調査



肥実効を施用した試験区では、
草丈が高く、茎も太い印象！
葉数も多い！



◇中間生育のまとめ(5/20-9/6)

収穫1ヶ月前に、各区の抜き取りを実施した結果、
肥実効を施用した試験区では、葉の厚さや勢い、根の太さ、
茎の太りが対照区と比較して上回っていた。(左写真)
葉色も対照区と比較して同等以上であり、
肥実効を施用することで追肥を省力しながらも
対照区と同等以上の生育となった。



エムシー・ファーティコム株式会社

収量調査

実施日 10月18日

調査方法

各区、生育中庸なヶ所を1m×2ヶ所(各計2m)掘り取った。

(圃場中央部は両区とも生育が劣る為、避けてサンプル採取を行った。)

サンプルは、出荷基準の丈58-60cm、葉を3枚残しに調整し、出荷規格に応じて規格分けを行った。



左:圃場全景(左:対照区 右:試験区) 中央:対照区 右:試験区
収量調査時、試験区圃場の収穫が始まっていた。葉色は試験区の方が淡かった。

◇規格分け結果



	対照区		試験区	
	本数	平均重(g)	本数	平均重(g)
2L	3	173.3	0	-
L	30	124.0	48	123.3
M	24	87.5	10	79.0
S	1	60.0	2	55.0
計	58本	110.3	60本	113.7
収量	2797(kg/10a)		2881(kg/10a)	

※平均重を31680株/10aに換算し10a当りの収量としている。
欠株、出荷ロスを加味し収量は2割減で算出した。

試験区では収益性に優れた
L規格の割合が高い。
10a当りの収量は試験区で増収した。

規格	2L	L	M	S
茎径(cm)	2.2-2.5	1.7-2.1	1.4-1.6	1.0-1.3

◇試験結果まとめ

◇中間生育結果

中間生育は初期～中期にかけては施用窒素量の差があるものの、試験区は対照区と比較して草丈は高く、茎は太く推移した。

◇収量調査結果

収量調査・規格分けを行った結果、対照区ではM規格が、試験区ではL規格が多い結果となった。試験区では2L規格はないものの対照区と比較してL規格の歩留まりが高かった。試験区の1本当りの平均重量は対照区と同等以上であった。(対照区:110.3g 試験区:113.7g)

- 本試験は慣行の6回の追肥体系に対し、肥実効222-15号を施用することで追肥を5回削減した比較試験であった。
- 中間調査結果より、初期から中期にかけては調査時ごとで施用窒素量の差があるものの、試験区では追肥を省力しながらも対照区と比較し草丈や葉の厚さ、葉数等の生育が上回っており初期～中期にかけての養分吸収が良好だったと考えられる。
- 収穫時はやや葉色が淡くなっていたものの、L規格割合が高く平均重も上回っていたことから収穫期まで肥実効の肥効が緩やかに維持されていたと考えられる。
- 本試験結果より秋取りのネギ栽培において、肥実効222-15号を元肥、追肥に使用することで追肥回数の削減と増収が期待できると考えられる。

インコーティングの
ロング肥料 **HIMIKO**

肥実効

ネギとの相性抜群!
省力栽培の決定版!!

○保証成分

窒素	リン酸	加里
12.0	12.0	12.0

平成29年度(2017) 省力試験

◇慣行区

元肥:リン酸資材

追肥:オール14 **6回追肥**(合計N:29.4kg/10a)

◇試験場所:岩手県花巻市

◇品種:ホワイトソード

◇定植日:5月20日

◇収量調査日:10月18日

◇試験区

元肥:肥実効222-15号

追肥:肥実効222-15号 **1回**(合計N:26.4kg/10a)

追肥を

5回削減!!

収量調査結果(10月18日)

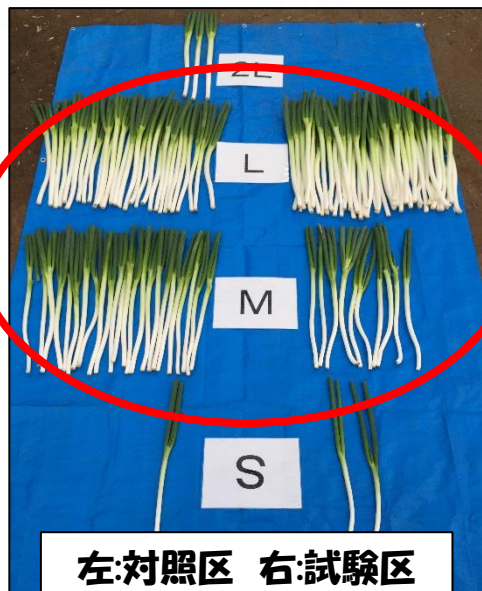
◇規格別割合

※収量調査は各区生育中庸の箇所を
1m×2ヶ所を全量掘り取り調査

規格	対照区	試験区
2L	5.2%	0.0%
L	51.7%	80.0%
M	41.4%	16.7%
S	1.7%	3.3%

収益性の高いL規格の割合が増加!

肥料代を差し引いた経済効果で約8%増益!!



左:対照区 右:試験区